



ひいといだっけの合衆国

▲絵手紙のブースでカブを描く子どもたち

10月28日、今年で14回目となる香北いきいき合衆国が、健康センターセレネの周辺施設で開催されました。

芝生広場では、もち投げや食品・農産物の販売などが行われ、たくさんの人でにぎわいました。ステージでは、ティーパンズの演奏や、フラダンスショーが行われ、来場者を楽しませていました。また、保健福祉センター香北で行われたアンパンマンショーは、子どもたちに大人気で、会場は大盛況でした。

によきによきっ しいたけできた

大宮小学校3年生が、菌床しいたけの栽培・収穫を体験しました。

10月15日、講師の平山貴雄さん（香北町菌床生産組合）から説明があり、児童たちは、同組合から提供された菌床ブロックを水で湿らせて日陰に置き、定期的に水やりを行いました。栽培途中、強風のあおりを受け育成用ハウスが倒れたり、菌床しいたけの芽が出てこなかったりと苦労もありましたが、大きな菌床しいたけが生え、同26日に子どもたちは楽しく収穫を行いました。



▶育てたしいたけを観察

大栃中 防災学習で地域交流

10月10日、大栃中学校で地域防災学習が行われ、全校生徒31人と防災会などの地域住民約70人が参加しました。

この防災学習は、生徒が地域の一員としての役割を担い、自身の地域における必要性を感じて、行動することを目的に行われました。



▲大栃中生徒による炊き出し訓練

午前中は避難訓練が行われ、生徒がテントの設置やご飯やみそ汁の炊き出しを行い、避難してきた住民を誘導しました。



▲人形を使った心肺蘇生法の訓練

訓練後、消防署・地元消防団による避難救急法講座が開かれ、心肺蘇生法・担架製作方法などについて学びました。

四電 街路灯18基寄贈

10月22日、四国電力株式会社山田営業所から香美市に、街路灯18基の目録が手渡されました。

同社は毎年10月に行っているよんでんグループふれあい旬間の事業の一つとして、自治体へ街路灯の寄贈を行っており、街路灯は設置を希望する自治会の中から、選ばれた地区へ設置されました。香美市からは同社へ感謝状が贈られました。



▲市長に目録を渡す佐野喬四国電力山田営業所長（写真右）

お披露目！お婉の魅力

10月23日、野中神社（土佐山田町中組）に、野中兼山の四女婉（えん）が、同神社建立の際に読み上げた祭文の説明板が設置され、除幕式が行われました。

説明板は、高知市の野中婉を顕彰する会から市教育委員会に寄贈されたもので、当日は山田太鼓伝承会の演奏や、義太夫語りである竹本美園さんによる婉の生涯を描いた浄瑠璃が上演され、約280人が集まりました。

同神社はお婉堂とも呼ばれており、婉は兼山の没後、医者をする傍ら、谷秦山から儒学・神道を学び、父や先祖らを祭るために同神社を建立しました。

※山田太鼓伝承会の演奏と浄瑠璃上演には宝くじ助成金が活用されています。



▲婉の生涯を描いた浄瑠璃上演

完成！交通安全の歌

10月21日、香長小学校で、同校児童とフォークシンガーの豆電球さん（安田町）が制作した交通安全の歌『みんな笑顔で』がお披露目されました。

この歌は、交通安全への意識を高めようと交通安全協会香美支部新改地区が昨年、同校に制作を依頼し、児童が考えた詞を基に、豆電球さんの協力により完成しました。



左端でマイクを持つのは、詞を作った香長小6年生の大塚咲希さん。ギター奏者は豆電球さん。

高円宮妃殿下来市



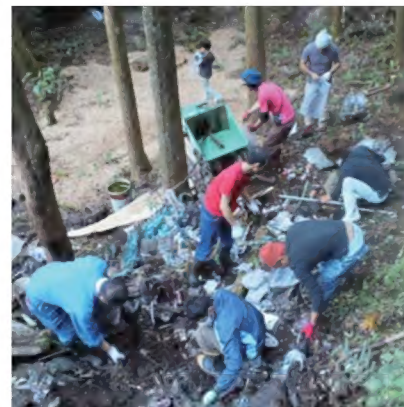
▲やなせたかし記念館前のキャラクターに微笑む妃殿下

日本スポーツマスターズ2012高知大会の開催に合わせて来高された高円宮妃殿下が、10月23日、やなせたかし記念館（香北町）を訪れ、館内を興味深くご覧になりました。

妃殿下はこの後、閉校した大栃高校の生徒が考案したユズのパウンドケーキを召し上がられました。

日ノ御子をきれいに！

10月21日、香北町日ノ御子の物部川河川敷周辺でボルダリングの仲間による清掃が行われ、2トトラック3台分のゴミが回収されました。同地区はボルダリングのスポットとして知られており、不法投棄により散乱した大量のゴミを「自分たちの遊び場は自分たちできれいに」との思いで今年8月にも行い、今回で2回目。※2mから4m程度の岩や石を安全器具をつけずに登るスポーツ



▲少ない人数で大量のゴミを清掃